

# 派遣報告書

平成25年 7月22日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会

(代表) 議員 段塚 廣文



次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

## 記

- 1 派遣期間 平成25年 7月 9日 (火) から平成25年 7月12日 (金) まで
- 2 派遣先 北海道旭川市 (市民文化センター)  
-----
- 3 視察 (調査) 議員名 段塚 廣文  
-----
- 4 面会者  
-----
- 5 派遣目的 第8回全国市議会議長会研究フォーラム in旭川参加  
-----
- 6 視察の経過及び感想  
別紙のとおり  
-----  
-----
- 7 添付書類  
(1) 第8回全国市議会議長会研究フォーラム in旭川パンフレット (写)  
  
(2) 同資料集、出席者名簿

要した経費: / 人合計 個人旅費 94,500 円  
政務活動費 6,050 円



## 視察の経過及び感想

### 第1日目 7月10日(水)

#### 第1部 基調講演 「地方議会改革」

公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所理事長 西尾 勝氏

地方自治の本旨である住民自治をいかに実現すべきか、また今後住民が地方議会に求める期待について、更には市民の負託に応えるために議会改革に積極的に取り組むこと、その上に立って自己研鑽、自己啓発に努めること等を基本とした講演であった。

---

#### 第2部 パネルディスカッション

コーディネーター：北海道大学公共政策大学院教授 宮脇 淳氏

パネリスト：早稲田大学公共経営大学院教授 片木 淳氏

駒澤大学法学部教授 大山 礼子氏

毎日新聞論説委員 人羅 格氏

旭川市議会議長 三井 幸雄氏

具体的事例をあげ、踏み込んだ内容のディスカッションとなった。中でも、大山駒澤大学法学部教授の「住民の声に市民の声を反映しなさいと云いながら、議員定数削減・議員報酬削減の高まりは矛盾であり、将来に危険を覚える」の発言が印象に残っている。

---

#### 第3部 意見交換会

会場：旭川グランドホテル

全国2200有余名の市議会議員の本音の意見交換の場となった。

## 第2日目 7月11日(木)

### 第4部 課題討議 「政務活動費を考える」

コーディネーター：山梨学院大学法学部教授 江藤 俊昭氏

事例報告者：函館市議会副議長 斉藤 佐知子氏

宝塚市議会前議長 江原 和明氏

熊本市議会副議長 鈴木 弘氏

コメンテーター：弁護士 橋本 勇氏

各自治体の事例等を踏まえて法律的な解釈、現実と法律の差異等日常的な問題点等の討議であり、大変有意義であった。